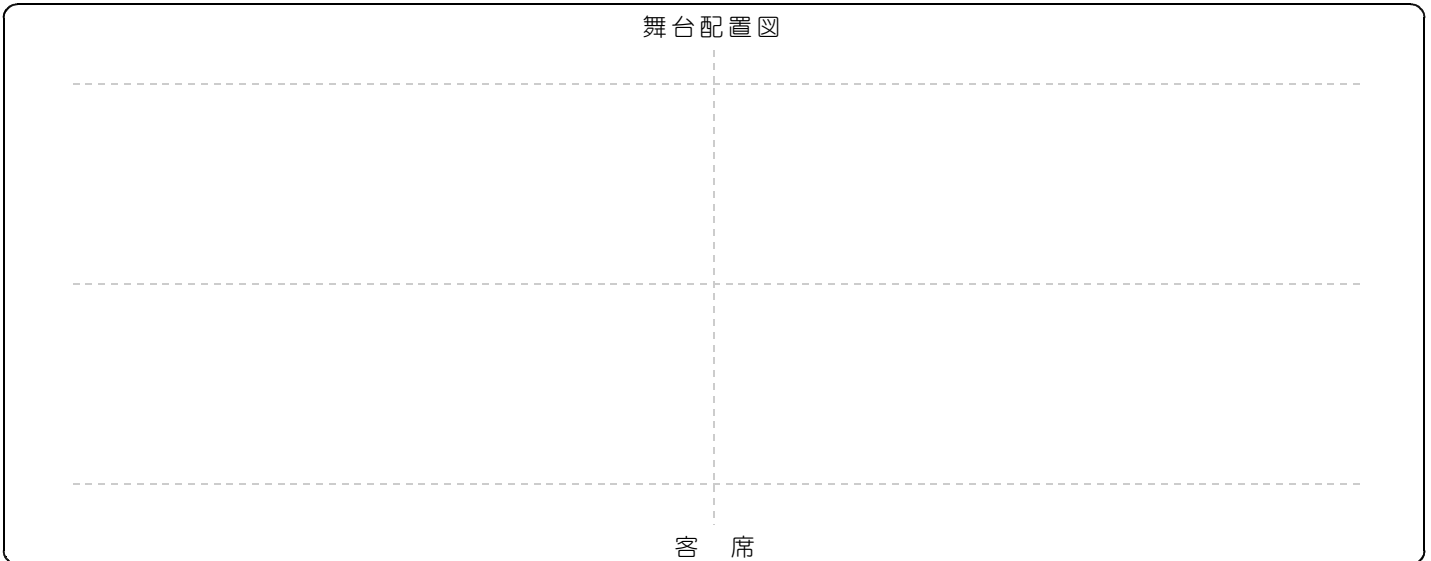


No.	ゆるる秋	演奏者数	演奏時間
-----	------	------	------



表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ モニター	□ 毛氈	W 屏風
立 奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座 奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

調絃表	ピッチ A=44		編成：箏											
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾	
箏									D#					
	C	G	A#	C	F	G	A#	C	C#	F	F#	G	C	

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1980年 委嘱者 和田泰子 構成 箏独奏 時間 9分 出版楽譜 無し

解説 歌をともなった曲を、と依頼され、様々な詩に出会い、こみあげる感動に揺られながらも作曲に踏み切れずにいた或る日、京都の或るホールの楽屋でモニターから流れるこの詩に出会ったのです。そしてその時私の裡で鳴った箏の音で、この曲の最初の部分を構成しました。途中音楽的処理の為、あて読みをした部分が数箇所あります。1979年10月作曲。〔作曲者〕遠きもの まづ揺れて つぎつぎに 目に揺れて 揺れ来るものの風なりと思ふ間もなし 我いよよ揺られはじめぬ。 風吹けば風吹くがまま 我はただ揺られ揺られつ、揺られつつその風をまた わがうしろ遥かにおくる。 吹く風に揺れそよぐもの 目に満ちて 翔る鳥 ただ一羽 弧は猫けど 揺れ揺れて まだ空の中 吹く風の道に 驚きやまぬものあり 光、また暗みて をりふし強く、急に強く ひかり、また暗む すべて秋、今は秋。 輝けど そは遠し。 尾花吹く風。

北原白秋 作 “風”より 収録媒体 LP 沢井忠夫・箏の軌跡 (WB-7092~96)